

トップインタビュー

2006年1月3日

2005年1月3日

常に時代を先取りし、業績をのばしてきたタイヘイM&C。事業内容は介護用品のレンタル・販売、住宅改修、医療コンサルテイング、調剤薬局と多岐にわたる。昨年8月に就任した副島広幸社長(32)

社員教育に力を注ぐ。

今年、介護保険の改正が行われることを踏まえ、

お客様に選ばれる事業所を目指して。

「お客さまのニーズが大きく変わる年になる。次の時代のキーワードは、個人

内での改革としては、仕事量を分散させるため、すべて月末だった決済の時期をずらすことでスピーディな対応が可能になりミスが減らすことができたという。

ビズの質を向上させるため、社内外コミュニケーションに力を入れて互いに学びあいながらがんばっていきたい。」と語る副島社長。これまでの高い評価に驕ることなく、海外研修や年数回の外部研修など

情報保護、情報開示、第三者評価」と語る。すでに

同社は、福岡市が全国

に先駆けて導入している

介護サービス評価センターの認証を取得した。市

民が事業所を選ぶ理想的な介護サービスのモデルとして選ばれたものだ。

来年度より、厚生労働省でも同様の制度の導入が

予定されており、これの認証取得にも意欲を燃やす

活気あふれる企業だ。

介護用品レンタル・販売、保険調剤薬局のタイヘイ。「社内では人を育て社外では人脈をつくる。現場で働く人の気持ちが変わる気配りが今年の課題です」と明るく語るのは就任2年目の副島広幸社長(33)。

若さ溢れるネットワークの軽さで信頼できる企業へ体制づくりを押し進める。現在社員90人を抱えるが、数年後には150人程度まで増員を予定している。成長著しい企業だ。

月の個人情報保護法の施行を受けて、社内にプロジェクトチームを作った。本年中には、プライバシーマークを取得予定だ。そのほか介護サービスの情報開示の標準化へ向けての準備を行った。

人材育成の面では、東京等から専門の講師を呼び、年数回の社員研修を実施予定。数年中には、県全体で有識者の会を組織し介護業界の未来を考えていきたいと話す副島社長。平成18年度より介護

保険制度は、予防重視型システムへ変換する。元氣なお年寄りを増やすため

“人財”育成と気配りが今年のテーマ。

予防給付を創設するのだ。変化の多い業界だが、この変化こそがビジネスチャンス。

う有利な立場を活かし、利用者数を増やし、利用しやすい価格設定と品揃

えてさらにシテを伸ばしていく目論みだ。レンタル、薬局ともにそれぞれの専門分野で九州でナンバーワンの企業になることを目標に社員一丸となつて努力している。



株式会社大平

タイヘイM&C

代表取締役 副島 広幸

小城市牛津町牛津一五二四

電話 0952(66)0206